

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		波の家発達支援センター				公表日	令和7年 2月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	2			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	10		できる時は日に2回床拭きをしている。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		個別の部屋や、空いている部屋を使って対応している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	2	全体でミーティングを行い、支援の共有、改善点の把握をしている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		お子様と保護者のニーズに寄り添いながら、しっかりと話し合って作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	1	ケース会議以外にも、利用者に関わる職員に話を聞き、検討内容に組み込んでいる。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	1			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	職員同士で話し合う機会を作り、より良い支援を考えている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	2	支援者で相談して決めている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10				
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10				

適切な支援の提供	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	1	・スケジュールボードに記入し、全職員が活動内容を把握できるようにしている。 ・朝のミーティングや、業務連絡ノートに記入し、連携できるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	2	気になった点を業務連絡ノートに記入し、共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10		支援計画に基づいて記録を取り、改善に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	2		地域交流はなかなかできていない為、学校にお迎えに行った時や、学童との交流を考えいく。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		活動の中で、自分で選択できる場面を作るように心掛けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8	1		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	6		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	7		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	6		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		前向きな内容を伝えるよう心掛けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	2	保護者会を行い、情報提供をしている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	4		きょうだい児の交流はない為、ご希望があれば機会を作っていく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			

保 護 者 へ の 説 明 等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10		鍵付きの棚で保管したり、シュレッダーで破棄する等している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	5	法人で行われているお祭りに参加できるようにしている。	
非常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		服薬は間違いがないようにダブルチェックをしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		・食事のテーブルを分けている。 ・見えるところに注意書きを掲示している。	対象時が増えるとチェック表を作っていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ミーティングで情報共有し、対策を話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10			

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	波の家発達支援センター		
○保護者評価実施期間	2024年 8月 1日	~	2024年 8月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	2024年 8月 1日	~	2014年 8月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 1月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の数が多く、様々な意見を取り入れながら支援ができる。	お子様の状況に合わせて、個別での活動や集団活動を組み合わせて支援を行うようにしている。	工夫して良かった点があれば共有し、支援に取り入れていく。
2	長期休み中には朝から開所し、普段できない様々なレクリエーションを行っている。	買い物、調理、工場見学など、普段できないことや行けない場所へ行く計画を立てている。	他施設からの情報も取り入れ、新しい場所を開拓していく。
3	学童への送迎を行うなど、保護者のニーズに対応している。	長期休みのみご自宅や学童へ迎えに行くなどの対応をしている。	一人での送迎場所の待ち合わせ等にも対応していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	バリアフリー化ができていない。	自社物件ではない為、建物の構造上難しい。	段差や階段がある場所は、支援者が見守りを行ったり、手をつなぐ等して、危険がないようにしていく。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	波の家発達支援センター	公表日	令和7年 2月 1日				
利用児童		数	20				
		回収数	15				
	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1			運動できるスペースが十分確保されている。	国の基準を満たしていることを契約時や面談時に伝えています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15				十分な体制で安心です。	現状が維持できるように努めます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	1		1	立ったまま靴のぬぎはきができないので、手すりがあるとよい。	建物の構造上、手すりの設置は難しい為、椅子を置くなどして、靴の脱ぎ履きがしやすいよう配慮します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14			1	部屋がとても清潔です。	今後も清掃を行い、季節毎の壁面を変える等、目で見てわかりやすい環境を作ります。
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				とても子どものことを理解してくれている。	お子様のことをしっかりと理解し、支援ができるよう努めます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15					現状が維持できるように努めます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				保護者の要望や子どもの様子を取り入れて、それに伴う支援をしてくれている。	今後もしっかりとご意見を聞き、作成します。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1				今年度から計画書が変更になっていることを再度お伝えします。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15					現状が維持できるように努めます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13			2	たくさん楽しいプログラムを用意してくれて嬉しい。	今後も様々なプログラムを取り入れ、内容をお伝えしていきます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	11		1	3		利用時間内に交流する事は難しいと考えていますが、トライやるなどのご要望があれば、受け入れをしていきます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15					今後も丁寧に説明していきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15					今後も丁寧に説明していきます。
保護者への説明等	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	1		コロナ前はあった。	今後行う予定ですので、決まり次第お伝えします。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	1			連絡ノートでも詳しく様子を知らせてくれている。	直接お伝えするとともにノートやメールなどでもお伝えするようにしていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15					今後も面談に加え、随時相談を受けていきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	1				保護者の方やお子様のお話を聞き、よりよい支援が行えるようにしていきます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2		3	保護者会にはまだ参加したことがないので、機会があればしたい。	今年度開催を予定していますので、ご案内させていただきます。

保護者への説明等	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2			いつも迅速に対応してくれ、助かっています。	いつも相談を受け付けるようにしています。面談時にも何かあればいつでも時間をつくることを伝えます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1				お子様に対しては、特にひらがなや絵、写真でも伝えていけるようにしていきます。また、保護者様へは口頭でのお伝えに加え、メール、手紙などでのお伝えも行っています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者にに対して発信されていますか。	13		2	毎月のおたよりや写メを楽しみにしている。	施設のブログがアップされた時はお伝えし、見ていただけるようにします。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14		1		鍵付きのボックスに保管していることを面談や契約時にお伝えています。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13		2	月1回訓練をしているので、危ないことがわかってきてている。	面談や契約時にお伝えし、ご希望があればお見せするようにします。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1	2	月1回訓練をしているので、危ないことがわかってきてている。	毎月行っていますが、行った際にはお伝えするようにします。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1	2		面談や契約時にお伝えしています。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13	1	1	小さい怪我でも丁寧に教えてくれている。	何かあれば、電話や直接お伝えするようにします。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	1		・毎日通所したがっている。 ・安心して通えている。	お子様の様子を見て、不安が取り除けるよう配慮していきます。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14	1		・長期休暇のレクを楽しみにしている。 ・1度も嫌がることなく楽しく通所している。	毎回楽しんでもらえるようプログラムを考えています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	15			・親も子も満足して通っています。 ・いつもありがとうございます。	今後もご満足いただけるよう、しっかり支援を行っていきます。	